

令和2年12月16日
政策経営部
生活文化政策部
保健福祉政策部
都市整備政策部
教育委員会事務局

事務事業見直しの状況について（追加報告）

1 主 旨

世田谷区政策方針及び令和3年度予算編成方針に基づき取り組んでいる事務事業見直しについて、令和2年11月10日・11日開催の各常任委員会において、見直し状況の途中経過を報告した。

今回、追加の見直し検討項目や見直し検討項目についての詳細内容を別紙のとおりとりまとめたので、報告する。

2 見直し状況

(1) 現時点の見直し効果額

令和3年度予算編成を進めるにあたり、各部において事業のあり方や方向性を一つひとつ検証し、ゼロベースで所要経費を見積もった。それによる見直し効果額を以下の表の見直しの区分に従い分類し、集計した（執行実績を踏まえた見積もり額の精査等を含む）。

なお、現在、予算編成過程において、見直し内容や金額の整理・調整中であるため、ここでは前回の報告時と同様に、各部による予算見積もり時点での見直し効果額を集計している。

見直しの区分	歳出削減効果額	うち一般財源効果額
事業規模や対象の見直し	77.7 億円	40.9 億円
事業内容や手法の見直し・転換	20.9 億円	20.7 億円
他の施策事業と合わせた見直し	9.3 億円	2.5 億円
事業の休止や廃止	8 億円	7.1 億円
計	115.9 億円	71.2 億円

(2) 主な見直し検討項目

主な見直し検討項目は別紙のとおり。なお、前回の報告時の内容から、以下のとおり新たな内容を追加した。

① 主な見直し検討項目の追加

見直しの進捗に伴い、主な見直し検討項目を追加掲載した。なお、内部事務に関する見直しや実績を踏まえた所要額精査などの項目は個々に列記せず、まとめて掲載した。

② 主な見直し検討項目についての詳細内容の追加

各項目について、見直し効果額・見直し概要・見直しの区分・見直しの視点を新たに掲載した。

3 今後の取組みについて

予算案の編成過程において、見直し検討項目についての内容や金額の整理・調整、その他事業の一時休止、公共施設やインフラの工事時期の調整、内部経費の一層の縮減等によるさらなる見直しを進め、収支均衡した予算案の編成を進める。

4 今後のスケジュール（予定）

令和3年2月 5 常任委員会（事務事業見直しの結果報告）

(単位：百万円)

各領域 見直し効果額	主な見直し検討項目	見直し 効果額	見直しの 区分
			見直しの 視点
【企画総務】 歳出 △647 うち一般財源 △647	政策経営部		
	区のお知らせ「せたがや」定期号ページ数、特集号発行回数の見直し	歳出 △27	ア
	全区版、地域版のページ数及び特集号の発行回数を減。併せて1号あたりの発行部数を精査。	うち一般財源 △27	A、D
	交流推進担当部		
	おもてなしプロジェクト事業の見直し	歳出 △21	ア
	おもてなしプロジェクト運営業務委託の内容精査、パレード等の事業規模・内容を見直す。	うち一般財源 △21	A、C、E
	危機管理部		
	自動通話録音機貸与事業の手法等見直し	歳出 △12	イ
	設置意向確認委託を廃止し、区からの直接貸与事業に一本化する。	うち一般財源 △12	C、D
	領域共通		
その他、電算経費等内部事務、事業費の精査など 63 予算事業	歳出 △587		
	うち一般財源 △587		

◆

※

見直しの区分

ア	事業規模や対象の見直し
イ	事業内容や手法の見直し・転換
ウ	他の施策事業と合わせた見直し
エ	事業の休止や廃止

見直しの視点

A	対象者・利用者にとっての必要度合い
B	施策と効果の関連性
C	効果と行政コストのバランス
D	対象者・利用者から見た代替手段(他の選択肢)の有無
E	コロナ禍の事業への影響

欄外に※のついた事業は、今回、新たに掲載した見直し検討項目
欄外に◆のついた事業は、今年度当初に事務事業の緊急見直しを行った事業

(単位：百万円)

各領域 見直し効果額	主な見直し検討項目	見直し 効果額		見直しの 区分	見直しの 視点
【区民生活】 歳出 △1,220 うち一般財源 △1,178	世田谷総合支所				
	地域包括ケアの地区展開報告会の実施方法の見直し 基調講演の休止等。	歳出 △1	イ	◆	
		うち 一般財源 △1	A、C		
	北沢総合支所				
	梅まつり、ふるさとまつり事業の経費縮減 運営体制の精査。	歳出 △1	イ	◆	
		うち 一般財源 △1	A、D、E		
	玉川総合支所				
	二子玉川周辺地区安全・環境美化委託事業の廃止 24時間安全安心パトロールで対応。	歳出 △9	ウ		
		うち 一般財源 △9	D		
	砧総合支所				
	船橋まちづくりセンター自動販売機の設置 自動販売機を新たに設置し、歳入を確保する。	歳入 増	0.4	イ	
				—	
	烏山総合支所				
	蘆花まつりの内容・手法の見直し 運営体制の精査、送迎バスの休止。	歳出 △1	イ	◆	
		うち 一般財源 △1	A、C、E		
	生活文化政策部				
	ふじみ荘閉館に伴う運営管理費の減 令和2年度末での運営終了に伴い、運営管理費を削減。	歳出 △181	エ		
		うち 一般財源 △166	B、C		
うたの広場 実施方法の見直し・検討のための休止 区民がより関心を持てるよう実施方法を見直すため、一時休止する。	歳出 △2	イ			
	うち 一般財源 △2	B、C			
芸術アワード“飛翔”の休止 第7回の募集を休止する。	歳出 △1	エ			
	うち 一般財源 △1	E			
文化情報誌「音楽通信」発行休止 ホームページの活用等により情報提供を行うなど、手法を見直し、発行を一時休止する。	歳出 △8	エ	◆		
	うち 一般財源 △8	D、E			
せたがや文化財団補助金事業内容の見直し 企画展の開催回数や自主公演、ワークショップの回数を減らすなど事業内容を見直す。	歳出 △80	イ			
	うち 一般財源 △80	E			

見直しの区分

ア	事業規模や対象の見直し
イ	事業内容や手法の見直し・転換
ウ	他の施策事業と合わせた見直し
エ	事業の休止や廃止

見直しの視点

A	対象者・利用者にとっての必要度合い
B	施策と効果の関連性
C	効果と行政コストのバランス
D	対象者・利用者から見た代替手段(他の選択肢)の有無
E	コロナ禍の事業への影響

欄外に※のついた事業は、今回、新たに掲載した見直し検討項目
 欄外に◆のついた事業は、今年度当初に事務事業の緊急見直しを行った事業

(単位：百万円)

各領域 見直し効果額	主な見直し検討項目	見直し 効果額	見直しの 区分		
			見直しの 視点		
【区民生活】	指定保養施設の見直し 利用者数の減少に伴い、指定保養施設の区の利用料負担を終了する。一定期間の経過措置を設けた後、協定保養施設に移行する。	歳出 △13 うち一般財源 △13	イ	※	
	スポーツ推進部				
	2020年東京オリンピック・パラリンピック気運醸成事業の手法等見直し 100日前イベントやコミュニティライブサイト等の事業規模の縮小や事業内容を見直す。	歳出 △87 うち一般財源 △72	ア、イ	◆	
	環境政策部				
	親子環境学習会事業(バス見学会)の休止 バス見学会は休止し、環境学習コンテンツの動画配信に切り替える。	歳出 △0.4 うち一般財源 △0.4	エ	◆	
	経済産業部				
	ビジネスマッチングイベント(産業振興公社補助)の廃止 財政状況を踏まえ、実施主体の産業振興公社において事業を廃止する。	歳出 △0.5 うち一般財源 △0.5	エ		
	BtoB関連の広報誌をWEB媒体に変更(産業振興公社補助) 産業振興公社が発行する広報誌「ものつくるひと」の中のBtoB関連の紙面をウェブ媒体に変更する。	歳出 △2 うち一般財源 △2	イ		
	ソーシャルビジネス支援事業のせたがや産業創造プラットフォーム事業への統合 ソーシャルビジネス支援事業を区内産業に関係する団体等が横断的に関わる産業創造プラットフォームで実施する。	歳出 △1 うち一般財源 △1	ウ		
	イベントホームステイ事業の中止 コロナ禍や財政状況を踏まえ、来年度の東京2020大会開催の有無に関わらず事業を中止する。	歳出 △10 うち一般財源 △10	エ	◆	
	観光事業(産業振興公社補助)事業規模や対象の見直し 2020大会関連事業(観光メッセ、馬車運行、流鏝馬、シクロポリタン(自転車タクシー))や商店街イベントマップ作成を見送る。	歳出 △52 うち一般財源 △52	ア、エ	◆	
	都市農業 隣接区との協働事業の廃止 都市農地を守る機運醸成という当初の目的を達成したため、アグリフェスタ(杉並区)、トークライブ(目黒区)のイベントを廃止する。	歳出 △2 うち一般財源 △2	エ	◆	
	領域共通				
	その他、内部事務、事業費の精査など 137予算事業	歳出 △769 うち一般財源 △757		※	

見直しの区分

ア	事業規模や対象の見直し
イ	事業内容や手法の見直し・転換
ウ	他の施策事業と合わせた見直し
エ	事業の休止や廃止

見直しの視点

A	対象者・利用者にとっての必要度合い
B	施策と効果の関連性
C	効果と行政コストのバランス
D	対象者・利用者から見た代替手段(他の選択肢)の有無
E	コロナ禍の事業への影響

欄外に※のついた事業は、今回、新たに掲載した見直し検討項目
欄外に◆のついた事業は、今年度当初に事務事業の緊急見直しを行った事業

(単位：百万円)

各領域 見直し効果額	主な見直し検討項目	見直し 効果額	見直しの 区分	
			見直しの 視点	
【保健福祉】	保健福祉政策部			
歳出 △6,316 うち一般財源 △2,637	保健福祉サービス苦情審査会の開催回数見直し 実績を踏まえ開催回数を減らす。	歳出 △0.9 うち一般財源 △0.4	ア	◆
	老人性白内障特殊眼鏡等費用助成事業の廃止 直近5年間での助成実績がなく、ニーズがなくなったと判断し事業を廃止する。	歳出 △0.1 うち一般財源 △0.1	エ	
	国民健康保険事業会計・後期高齢者医療会計 夏の施設借り上げ事業の休止 コロナ禍の影響を踏まえ、休止する。	歳出 △12 うち一般財源 △12	エ	※
				B、C、E
	高齢福祉部			
	区立特別養護老人ホーム民営化に伴う指定管理料等の減 芦花ホーム・上北沢ホーム・きたざわ苑を民営化することに伴い、関連費用を削減する。	歳出 △523 うち一般財源 △522	イ	
	民間事業者参入増加による環境整備に伴う高齢者配食サービス事業の廃止 利用者の減少の一方、民間事業者の参入が進み、自身の希望に合ったサービスを選択し利用できる環境が整ったため、令和2年度末で事業を廃止する。	歳出 △40 うち一般財源 0	エ	B、C、D
	慶祝事業の対象者・金額等の見直し 対象年齢及び金額を見直す。	歳出 △35 うち一般財源 △35	ア	A、C
	障害福祉部			
	保健センター事業運営の見直し 運営実態に即した職員体制に見直す。	歳出 △14 うち一般財源 △14	ア	C
	子ども・若者部			
	「せたがやの子育て」発行の廃止 今年度で発行を廃止する。	歳出 △2 うち一般財源 △1	エ	C、D
	若者支援シンポジウム事業の見直し・縮小 コロナ禍等を踏まえ、規模を縮小する。	歳出 △1 うち一般財源 △1	ア	◆
				E

見直しの区分

ア	事業規模や対象の見直し
イ	事業内容や手法の見直し・転換
ウ	他の施策事業と合わせた見直し
エ	事業の休止や廃止

見直しの視点

A	対象者・利用者にとっての必要度合い
B	施策と効果の関連性
C	効果と行政コストのバランス
D	対象者・利用者から見た代替手段(他の選択肢)の有無
E	コロナ禍の事業への影響

欄外に※のついた事業は、今回、新たに掲載した見直し検討項目
欄外に◆のついた事業は、今年度当初に事務事業の緊急見直しを行った事業

(単位：百万円)

各領域 見直し効果額	主な見直し検討項目	見直し 効果額	見直しの 区分		
			見直しの 視点		
【保健福祉】 歳出 △6,316 うち一般財源 △2,637	保育部				
	保育施設整備の見直し	歳出 △856	ウ	※	
	施設整備費計上内容の精査、及び認可外保育施設を含めた既存園の活用等、多様な保育ニーズに対応する取組みを進める。	うち一般財源 △180	D		
	認可保育園運営株式会社等の企業信用調査の見直し	歳出 △0.8	ウ	C	
	区内で新たに事業参入する株式会社等の減少や、別に財務診断調査を毎年実施していること等を踏まえ、調査頻度を毎年から3年ごとに見直す。	うち一般財源 △0.8			
	世田谷保健所				
	大学生食育プロジェクト事業の休止	歳出 △0.5	エ	A、B、E	
	調理実習を伴う会食形式の取組みのため、コロナ禍を踏まえ休止する。	うち一般財源 △0.5			
	領域共通				
	執行実績を踏まえた扶助費の精査	歳出 △2,953		※	
	うち一般財源 △1,053				
その他、内部事務、事業費の精査など 172予算事業	歳出 △1,878		※		
	うち一般財源 △817				

見直しの区分

ア	事業規模や対象の見直し
イ	事業内容や手法の見直し・転換
ウ	他の施策事業と合わせた見直し
エ	事業の休止や廃止

見直しの視点

A	対象者・利用者にとっての必要度合い
B	施策と効果の関連性
C	効果と行政コストのバランス
D	対象者・利用者から見た代替手段(他の選択肢)の有無
E	コロナ禍の事業への影響

欄外に※のついた事業は、今回、新たに掲載した見直し検討項目
 欄外に◆のついた事業は、今年度当初に事務事業の緊急見直しを行った事業

(単位：百万円)

各領域 見直し効果額	主な見直し検討項目	見直し 効果額	見直しの 区分	
			見直しの 視点	
	【都市整備】 都市整備政策部			
歳出 △2,486 うち一般財源 △1,743	世田谷トラストまちづくり補助金事業規模や対象等の見直し 自主財源の活用、事業の総点検による一部の業務を内製化する。	歳出 △24 うち一般財源 △24	ア、イ D、E	◆
	風景づくり普及啓発イベントの休止 コロナ禍等を踏まえ、令和3年度の実施を見送る。	歳出 △0.5 うち一般財源 △0.5	エ E	◆
	ユニバーサルデザイン普及啓発ワークショップの休止 コロナ禍等を踏まえ、令和3年度の実施を見送る。	歳出 △0.4 うち一般財源 △0.4	エ E	
	防災街づくり担当部			
	不燃化特区事業の期間延長に伴う令和3年度からの対象地区及び取組み内容の見直し 対象5地区のうち、不燃領域率70%に達した太子堂・三宿地区については、助成金等の支援を終了し、固定資産税等の減免は継続させる。	歳出 △352 うち一般財源 △65	ア A	
	木造住宅除却制度の耐震診断手法の見直し 住宅の耐震化推進に係る木造住宅除却助成制度を活用するための要件を、一般診断または精密診断から、簡易診断に緩和する。	歳出 △8 うち一般財源 △5	イ A、C	
	みどり33推進担当部			
	公園用地令和2年度買収に伴う取得面積の減 来年度買収予定地の前倒し。(玉川野毛町公園)	歳出 △775 うち一般財源 △394	ア C、E	
	土木部			
	参加体験型交通安全教室の実施回数の減 一般区民向けの交通安全教室の開催回数を減らす。(中学生向け教室は実施回数を維持する)	歳出 △1 うち一般財源 △1	ア D、E	◆
道路等の工事時期の調整 路面改良や歩道整備について、令和2年度への前倒し発注等により工事時期を調整する。	歳出 △729 うち一般財源 △724	ア、イ E	◆	
LED街路灯新設改良工事の規模縮小(△163) 年次計画を見直し、LED化の時期を一部先送りする。	歳出 △163 うち一般財源 △163	ア E	※	
領域共通				
その他、内部事務、事業費の精査など 57予算事業	歳出 △433 うち一般財源 △366		※	

見直しの区分

ア	事業規模や対象の見直し
イ	事業内容や手法の見直し・転換
ウ	他の施策事業と合わせた見直し
エ	事業の休止や廃止

見直しの視点

A	対象者・利用者にとっての必要度合い
B	施策と効果の関連性
C	効果と行政コストのバランス
D	対象者・利用者から見た代替手段(他の選択肢)の有無
E	コロナ禍の事業への影響

欄外に※のついた事業は、今回、新たに掲載した見直し検討項目
欄外に◆のついた事業は、今年度当初に事務事業の緊急見直しを行った事業

(単位：百万円)

各領域 見直し効果額	主な見直し検討項目	見直し 効果額	見直しの 区分		
			見直しの 視点		
【教育】	教育総務部				
	「せたがやの教育」ページ数の見直し 1回あたりのページ数を減らす。	歳出	△8	ア	
		うち 一般財源	△8	A、C	
	就学援助のお知らせ及び受給申請書の周知方法の見直し 全児童・生徒にお知らせ及び申請書を配付する形式から小中新1年生のみに配付、他学年はお知らせのみ配付する。	歳出	△2	イ	
		うち 一般財源	△2	A、C	
	河口湖移動教室事業の内容見直し 感染症の3密緩和を目的として、宿泊人数等を抑制し、大規模校は2回に分けて実施する。そのため行程を2泊3日から1泊2日に変更する。	歳出	△9	ア	
		うち 一般財源	△9	E	
	川場移動教室事業の内容見直し 感染症の3密緩和を目的として、宿泊人数等を抑制し、大規模校は2回に分けて実施する。そのため行程を2泊3日から1泊2日に変更する。	歳出	△5	ア	
		うち 一般財源	△5	E	
	教育政策部				
	せたがやおもてなし事業(2020大会)の中止(花のおもてなし等) 財政状況を踏まえ、事業を中止・見直しする。	歳出	△4	ア	
		うち 一般財源	△4	E	
	中学校歌舞伎鑑賞教室事業の休止 コロナ禍・財政状況を踏まえ、休止する。	歳出	△11	エ	
		うち 一般財源	△11	E	
	プラネタリウム一般投影番組等制作・プラネタリウムコンサートの休止 財政状況を踏まえ、一般投影番組、ちびっこタイム、小学校スカイライン(小学校から見た星空画像)制作、コンサート等を休止する。	歳出	△11	エ	
うち 一般財源		△11	A、C、E		
小中学生海外派遣事業の休止 コロナ禍・受け入れ先の状況を踏まえ、休止する。	歳出	△48	エ		
	うち 一般財源	△48	E		
生涯学習部					
図書購入費の減 購入資料を精査する。	歳出	△21	ア		
	うち 一般財源	△21	A、C、D		
アドベンチャーin多摩川の開催休止 コロナ禍・財政状況を踏まえ、休止する。	歳出	△8	エ		
	うち 一般財源	△8	A、B、E		
領域共通					
その他、電算経費等内部事務、事業費の精査など 85 予算事業	歳出	△798	/		
	うち 一般財源	△795			
合計	歳出	△11,594			
	うち一般財源	△7,127			

見直しの区分

ア	事業規模や対象の見直し
イ	事業内容や手法の見直し・転換
ウ	他の施策事業と合わせた見直し
エ	事業の休止や廃止

見直しの視点

A	対象者・利用者にとっての必要度合い
B	施策と効果の関連性
C	効果と行政コストのバランス
D	対象者・利用者から見た代替手段(他の選択肢)の有無
E	コロナ禍の事業への影響

欄外に※のついた事業は、今回、新たに掲載した見直し検討項目
欄外に◆のついた事業は、今年度当初に事務事業の緊急見直しを行った事業